

恩返しではなく
「恩送り」。

伝えたいことが
自分の仕事です。



主な栽培品目

フリルレタス
栗
小松菜
ホウレンソウ
トマトの苗



Q 始めたきっかけについてお聞かせください。
A 10年前の55歳になった時に定年退職をし、ちょうどその時に子供も学校を卒業し、就職を控えていた時でした。定年退職をして、何をしようかなと思っていた時、昔からある農地を維持出来たらという想いがありました。しかしながら、畑作を行うノウハウも教わってこず、自分自身がそうだったように、子供もどこかで勤め、退職してからの農業はとてもじやないけど難しいなと思ったので、何かいい方法がないものかと子供にも相談しました。

Q 始めたきっかけについてお聞かせください。
A 色々なものが混ざっています。しかし井戸水は真水です。純なので溶液が溶けやすいです。なので他で同じレタスを作っていても出来がちようと違う気がします。一週間くらいの冷蔵庫保存ならとれたてのシャキシャキ感が味わえます。その他のこだわりとして、極力薬剤を使わないようになっています。水耕だから管理されて薬もいっぱい使われていると思われるがちですが、むしろ露地栽培より薬は少ないのでないかと思います。

Q 大変だったこと・嬉しかったことはありますか。
A 趣味っていう世界でもないので、ある程度維持しようと思うとそれなりにコストが掛かります。そのコストを吸収するくらいの分は収益としてあげないと続けていけないので、維持することがいかに大変か嬉しかったことは、自然相手に毎日汗をかいて健康的だなあと思いますね。農業をやっていると肉体的な疲労はありますが、精神的な疲れはないです。そして自分がやった分だけ、結果になります。時には台風な

Q 始めたきっかけについてお聞かせください。
A 10年前の55歳になった時に定年退職をし、ちょうどその時に子供も学校を卒業し、就職を控えていた時でした。定年退職をして、何をしようかなと思っていた時、昔からある農地を維持出来たらという想いがありました。しかしながら、畑作を行うノウハウも教わってこず、自分自身がそうだったように、子供もどこかで勤め、退職してからの農業はとてもじやないけど難しいなと思ったので、何かいい方法がないものかと子供にも相談しました。

Q これから目標や夢をお聞かせください。
A 素人でも出来、新規就農の人達が長続きする農業のスタイルを作りたいです。そして若い人たちが農業を始めようかなと思った時に色々な選択肢があつて、そんな中で水耕栽培をやってみたいなという人がいれば、自分たちが失敗したことでは皆に教えてあげることが出来るので、そういうことを伝授できるようになります。

それと能勢町はご存じの通り銀寄栗の名産地ですが、年々収量が減る中で能勢ブランドを絶やすぬよう、次世代へのプレゼントとして丹精を込め育て上げ、「恩送り」をしていきたいと思っています。



そこで、会社に勤めていた時に知り得た水耕栽培について調べました。子供が茨城県の農学校に入り、水耕栽培について3ヶ月研修し、水耕栽培なら出来そうだと感触をつかんで帰って来てくれたので、それじゃあ一緒にやってみようかというのが始まりです。

Q 生産のことについて
A 水耕栽培に必要不可欠な水ですが、地下42メートルの井戸を掘り、井戸水で栽培しています。6本掘つて最後に出てきた井戸でした。水道水は淀川の水なので、調整されて